フラダンスで南国気分
ハワイアン・フラダンス講座

三郷公民館内地域課地域担当
TEL77・2109 FAX76・3077

フラダンスで、ハワイの文化に触れてみませんか？子どもからお年寄りまで、年齢を問わず楽しむことができます。

●**日程**　7月17日(木)、24日(木)、8月7日（木）、21日（木）、9月4日（木）、11日（木）　午後7時30分～9時
●**場所**　三郷公民館　講堂
●**講師**　森島もも子さん
●**定員**　30人（先着順）
●**受講料**　1200円（6回分）
●**持ち物**　飲物、タオル
●**服装**　運動のできる服装
●**申し込み**　7月3日（木）から受け付けます。午前9時～午後5時の間に電話でお申し込みください。

あづみの新進音楽家演奏会

図書館交流課
TEL81・3111 FAX82・0966

穂高交流学習センター「みらい」では、安曇野を拠点に活躍したい若手音楽家の発掘を目的に「第4回あづみの新進音楽家演奏会」を開催します。この演奏会は、12月に予定するコンサートの出演者の選考も兼ねて行うもので、観客アンケートの評価も審査に反映されます。

●**日時**　7月26日（土）開演午後1時30分
●**会場**　穂高交流学習センター「みらい」多目的交流ホール
●**入場料**　500円・全席自由（未就学児は入場できません）
●**チケット販売**　6月24日（火）から「みらい」窓口で販売します。（午前9時～午後9時30分）電話予約はできません。完売になり次第終了します。

『信州安曇野薪能（たきぎのう）』火入れ式役募集

文化課文化振興係
TEL62・3090 FAX62・3525

第24回信州安曇野薪能が8月23日（土）、明科龍門渕公園で行われます。開演に先立ち行われる火入れ式で、着物を着て会場に松明（たいまつ）を運ぶ火入れ式役を募集します。

●**応募資格**　市内在住あるいは通勤している満18歳以上（平成26年4月1日現在）の女性（高校生は除く）
●**募集人数**　1人
●**報奨その他**　報奨金1万円、招待券2枚
※当日の振袖着付け代、メイク代等は実行委員会で負担します。
●**締め切り**　7月11日(金)（必着）
●**審査方法**　7月中に開催される実行委員会で決定。結果は通知します。
●**申し込み**　市販の履歴書に応募の動機を明記し必要事項を記入の上、郵送するか持参してください。
信州安曇野薪能実行委員会事務局、文化課文化振興係
〒399-7102　安曇野市明科中川手2914番地1

昨年の火入れ式

豊科郷土博物館臨時休館

豊科郷土博物館
TEL72・5672 FAX72・7772

館内くんじょう（収蔵資料の防虫）作業のため、7月8日（火）・9日（水）は臨時休館します。

第85回第一美術展

豊科近代美術館
TEL73・5638 FAX73・6320

第一美術協会は、絵画・彫刻・工芸の3部門で構成され、現在、全国500人余りの会員と一般出品者で構成されている美術公募団体です。国立新美術館で開催された展覧会の中から、本年度の優秀作品を展示します。

●**会期**　6月24日（火）～7月6日（日）
●**開館時間**　午前9時～午後5時
※入場は午後4時30分まで、最終日は正午
●**休館日**　月曜日
●**観覧料**　常設展料金大人500（400）円、高校・大学生300（200）円
※（）は20人以上の団体料金

友の会　手しごとくらぶ

箱型小物入れ（10センチ四方）を作ります。

●**日時**　7月8日（火）・15日（火）午前9時～正午
●**場所**　豊科近代美術館　オリエンテーションルーム
●**参加費**　友の会員800円　一般1000円
●**講師**　平田米子さん
●**持ち物**　裁縫道具（好みの布があれば持参してください。30センチ正方2枚）
●**定員**　15人（抽選）
●**申し込み**　6月25日（水）から電話でお申し込みください。

アール・ヌーヴォーとアール・デコ展

安曇野髙橋節郎記念美術館
TEL81・3030 FAX82・0551

ヨーロッパのデザイン、工芸と髙橋節郎

ヨーロッパで生まれたデザイン様式、アール・ヌーヴォーとアール・デコは、19世紀末から20世紀初頭にかけて、広い地域に影響を及ぼしました。この様式は、伝統工芸に収まりきらない工芸美術分野の革新を後押ししました。今回の企画展ではヨーロッパのデザイン、工芸とともに髙橋作品を紹介します。

●**会期**　7月5日（土）～9月21日（日）
●**観覧料**　一般400円、高大生300円、中学生以下・65歳以上無料

ルネ・ラリック「ブローチ　翼のある風の精」1898年頃

髙橋節郎「漆朝夕衝立」1942年

安曇野髙橋節郎記念美術館臨時休館

企画展への展示替え作業のため、7月3日（木）・4日（金）は臨時休館します。

烏川渓谷緑地公開学習会

烏川渓谷緑地環境管理事務所
TEL FAX73・0203

カミキリムシ観察会

●**日時**　7月26日(土)午前9時～
●**場所**　県烏川渓谷緑地環境管理事務所
●**参加料**　無料
●**持ち物**　観察用雨傘、1メートル程度の棒
●**定員**　25人
●**申し込み**　6月23日（月）、午前8時30分から受け付けますので、電話、ファクス、メールで烏川渓谷緑地環境管理事務所へお申し込みください。
✉karasu@anc-tv.ne.jp

長野県総合教育センター利用案内

生涯学習課
TEL62・4565 FAX62・3525

長野県総合教育情報センター（塩尻市片丘）では、講堂、会議室、テニスコート、グラウンドを有料で貸し出しています。施設利用の詳細はホームページをご覧いただくか、当センター総務部（TEL53・8800）へお問い合わせください。

第5回　能面と能装束展

穂高交流学習センター「みらい」　TEL81・3111 FAX82・0966

第24回信州安曇野薪能開催に先立ち、能楽師の故青木祥二郎さんと青木道喜さんが使用した能面や能装束などを展示します。見る角度によって微妙にその表情を変える能面や、色鮮やかな染織に刺しゅうや金銀箔で文様を描いた能装束の数々を間近で観賞することができます。また過去の信州安曇野薪能の記録映像の上映も行います。

●**会期**　6月27日（金）～8月23日（土）
●**休館日**　毎週月曜日（7月21日を除く）、7月22日
●**会場**　穂高交流学習センター「みらい」交流ギャラリー
●**観覧料**　無料

故青木祥二郎さん
（観世流能楽師、市名誉市民）

再発見！安曇野の文化　その29

安曇野の改良犂（すき）

文化課博物館係
TEL62・3090 FAX62・3525

耕運機が登場して、農業の機械化が進む昭和30年代以前、田畑の耕作は牛馬や人の力によって行われていました。その道具を「すき」と呼んでいますが、人が足で踏み込んで耕すものを「犂」、牛馬に引かせて耕すものを「犂」と漢字で書いて区別します。

江戸時代までは、中国、朝鮮から伝来してきた「唐犂（からすき）」と呼ばれる大きな犂が使われていました。明治時代になってから深く耕せて小回りがきくように改良された犂が出回るようになりました。ここ安曇野にも「安曇犂」や「古川犂」などのように、安曇野の人々が使いやすいように改良した犂があります。安曇野には、新しいものを取り入れ、自分たちで使いやすいように工夫することが得意な発明家たちがいたのです。

博物館で展示している古川犂